

東北地方 1 か月予報

(5月26日から6月25日までの天候見通し)

平成19年5月25日
仙台管区气象台発表

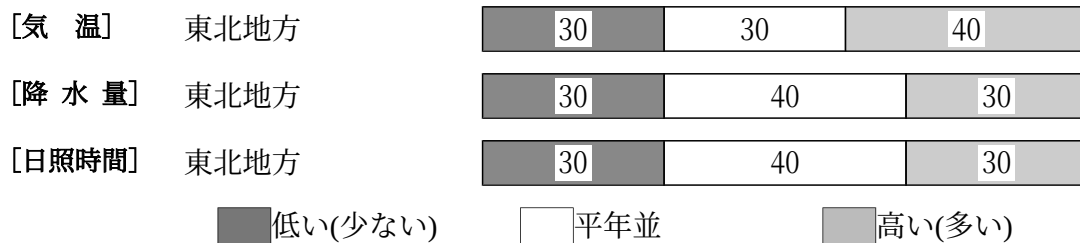
<特に注意を要する事項>

期間の前半は気温の変動が大きく、1週目は低く、2週目は高くなる見込みです。

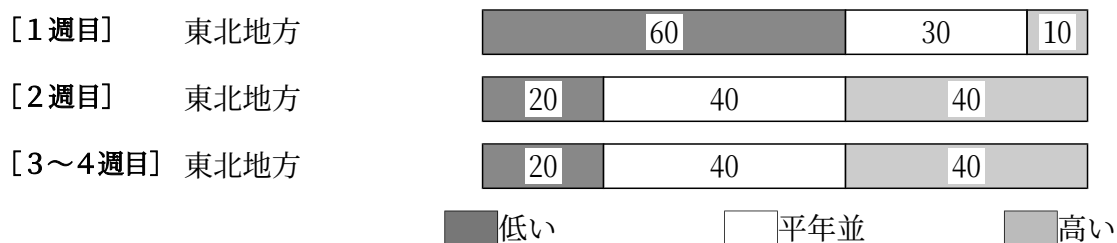
<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。
天気は、数日の周期で変わるでしょう。東北地方は期間の前半は平年に比べて曇りや雨の日が多いですが、その後は平年に比べて曇りや雨の日が少ないでしょう。
週別の気温は、1週目は低い確率が60%、2週目、3～4週目は平年並または高い確率がともに40%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

1か月 : 5月26日(土)～6月25日(月)
1週目 : 5月26日(土)～6月1日(金)
2週目 : 6月2日(土)～6月8日(金)
3～4週目 : 6月9日(土)～6月22日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は6月1日
3か月予報：6月25日(月) 14時

<参考資料（平年並の範囲等）>

（１）30 年平均値（向こう 1 か月の平均気温、降水量、日照時間と 1 週目、2 週目、3～4 週目の平均気温）

	気 温 (°C)	降 水 量 (mm)	日照時間 (時間)	気 温(°C)		
				1 週目	2 週目	3～4 週目
青森	16.4	81.0	197.2	14.9	15.9	17.0
深浦	16.5	107.4	194.9	14.9	16.0	17.2
むつ	15.0	107.3	182.0	13.8	14.6	15.6
八戸	15.7	95.6	186.9	14.5	15.3	16.2
秋田	18.1	120.7	194.2	16.3	17.6	18.9
盛岡	17.5	108.9	169.7	15.8	17.1	18.3
大船渡	16.7	162.5	169.3	15.4	16.3	17.4
宮古	15.6	108.1	160.1	14.4	15.2	16.1
仙台	17.8	121.3	153.0	16.6	17.5	18.3
石巻	17.1	99.5	167.8	15.7	16.8	17.7
山形	19.0	89.0	176.4	17.5	18.7	19.6
新庄	18.0	116.6	170.9	16.4	17.6	18.8
酒田	18.7	116.5	194.6	17.0	18.2	19.4
福島	19.5	99.8	155.0	18.3	19.3	20.0
若松	19.2	96.4	178.7	17.6	18.8	20.0
白河	17.9	150.8	145.9	16.7	17.7	18.5
小名浜	17.8	136.7	160.9	16.5	17.4	18.3

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

（２）1971～2000 年のデータに基づいた向こう 1 か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差(°C)	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.5～+0.3	84～109	92～107
東北日本海側	-0.5～+0.2	78～114	95～107
東北太平洋側	-0.5～+0.4	82～108	89～110

（３）この予報期間の 1 週目、2 週目、3～4 週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1 週目	2 週目	3～4 週目
東北地方	-0.6～+0.6	-0.7～+0.6	-0.5～+0.3
東北日本海側	-0.6～+0.6	-0.6～+0.5	-0.5～+0.3
東北太平洋側	-0.7～+0.7	-0.7～+0.7	-0.5～+0.4

<参考資料（利用上の注意）>

（１）気温（降水量）等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の 3 つの階級で予報します。階級の幅は、1971～2000 年の 30 年間における各階級の出現率が等分（それぞれ 33％）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。

（２）予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった 10％以下や 60％以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30％、40％）の確率しか付けられません。

（３）晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。なお、単に多い（少ない）と表現した場合には対象期間の 2 分の 1 より多い（少ない）ことを意味します。

東北地方 1 か月予報解説資料

平成 19 年 5 月 25 日 仙台管区气象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう 1 か月 (5 月 26 日～6 月 25 日) :

天気は数日の周期で変わるでしょう。東北地方は期間の前半は気圧の谷の影響で平年に比べて曇りや雨の日が多いですが、その後は平年に比べて曇りや雨の日が少ないでしょう。

平均気温は確率の偏りは小さい。

1 週目 (5 月 26 日～6 月 1 日) :

気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多いでしょう。期間の中頃には晴れる日がある見込みです。

平均気温は低い確率が60%です。

2 週目 (6 月 2 日～6 月 8 日) :

天気は数日の周期で変わるでしょう。気圧の谷の影響により、東北地方は平年に比べて曇りや雨の日が多い見込みです。

平均気温は平年並または高い確率がともに 40%です。

3～4 週目 (6 月 9 日～6 月 22 日) :

天気は数日の周期で変わるでしょう。一時前線やオホーツク海高気圧の影響を受けますが、東北地方は平年に比べて曇りや雨の日が少ないでしょう。

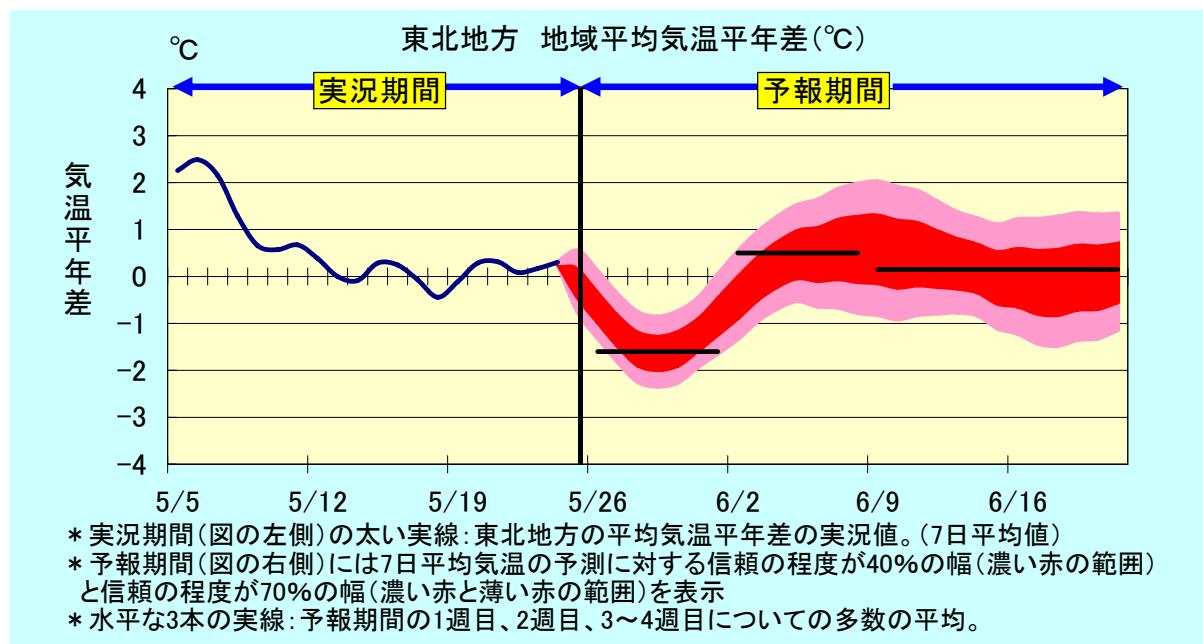
平均気温は平年並または高い確率がともに 40%です。

平年の晴れ日数

	向こう 28 日間	1 週目	2 週目	3～4 週目
東北日本海側	15.0 日	4.5 日	4.0 日	6.5 日
東北太平洋側	13.4 日	4.3 日	3.6 日	5.5 日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別のアンサンブル平均気温は、1 週目は平年を下回る予想となっており、2 週目、3～4 週目は平年を上回る予想となっている。

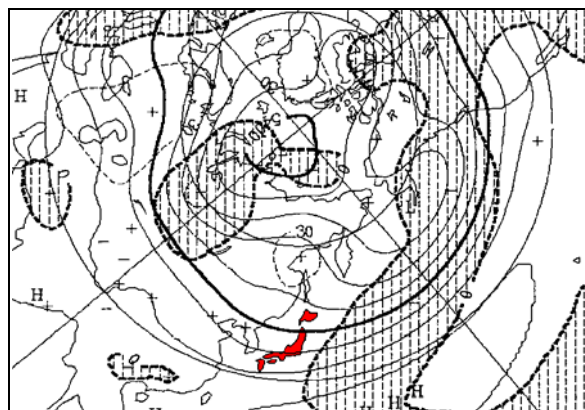


3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500 hPa 予想天気図)

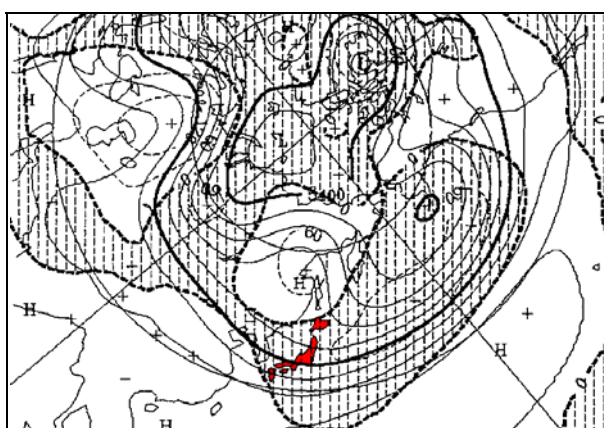
1か月平均： 中国大陸から日本付近は正偏差、日本の東海上は負偏差。オホーツク海付近に正偏差の中心があるが、湿った東風の影響は一時的な見込み。

1週目： ヨーロッパから続く正偏差と負偏差の波列が明瞭で、日本付近は日付変更線付近に中心を持つ負偏差に覆われる。シベリアからオホーツク海にかけて正偏差で、東北太平洋側は湿った東風の影響を受けやすい。日本付近は気圧の谷にあたり気温は低くなる見込み。

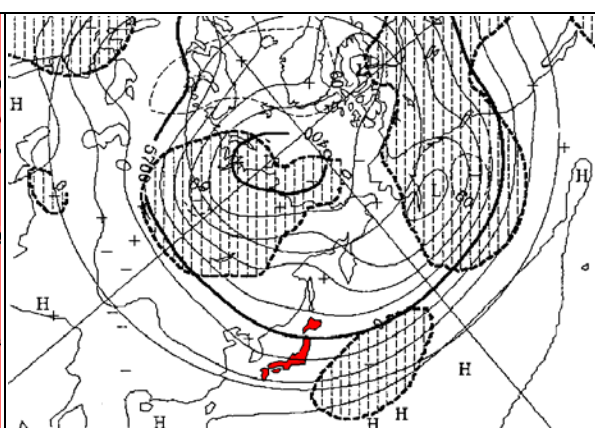
2週目： バイカル湖付近と日本の南東海上をのぞいて極東域は広く正偏差で気温は高温傾向。1週目に比べ偏西風の蛇行は小さく、オホーツク海付近の正偏差も小さい。



1か月平均 500hPa 予想天気図
(図の見方は1, 2週目と同じ
ただし平年差の間隔は 30m 毎)



1週目平均 500 hPa 予想天気図



2週目平均 500 hPa 予想天気図

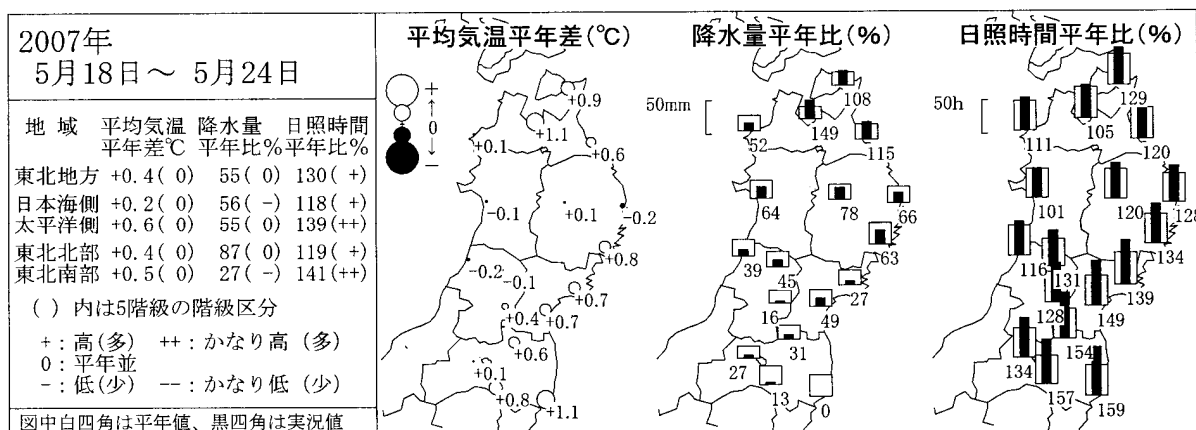
実線は、等高度線（間隔 60m）、点線は、平年差（間隔 60m）

陰影部は、負偏差で一般に寒気に対応する 白抜きは、正偏差で一般に暖気に対応する

4. 最近1週間（5月18日～5月24日）の天候の経過

期間の前半は低気圧や気圧の谷の影響で、東北北部を中心に曇りや雨の日が多かったが、その後は高気圧に覆われて晴れの日が続いた。18日は三陸沖と日本海に進んできた低気圧の影響で強風となり、鉄道が一時運休するなどの影響が出た。19日は寒気を伴った気圧の谷が通過し、一時雷を伴う強い雨となったところがあった。

平均気温は東北地方で平年並。降水量は東北北部で平年並、東北南部で少ない。日照時間は東北北部で多く、東北南部でかなり多い。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）